

平成18年度当初予算 重点プログラム別概要

元気2：中高年者雇用・安定プログラム

(主担当部：生活部)

(1) 短期職場実践訓練事業

廃止 (2) キャリアカウンセリング事業

(3) 求職者資格取得サポート事業

(4) 地域雇用対策推進サポート事業

(5) ライフ・ワークサポート三重推進事業

注：(2)は、国の「再就職支援セミナー事業」の内容拡大に伴い、本事業と重複することとなったため、17年度末で廃止する事業です。

<プログラムの事業費>

(単位：千円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	3か年計
当初計画	216,846	209,000	209,000	635,000程度
見直し後	126,459	98,490	74,142	299,091

注：「見直し後」の16年度は決算額、17年度は予算現額、18年度は当初予算額

<事業目標>

目標項目		平成16年度	平成17年度	平成18年度
(1) 訓練受講者数の就職率	目標値	75%	83%	85%
	実績値	82.3%	83%	
(2) 廃止 受講者の就職率	目標値	40%	45%	/
	実績値	44%	45%	
(3) 資格取得者の就職率	目標値	60%	70%	75%
	実績値	50%	75%	
(4) 各地域単位で実施する事業数(累計)	目標値	10事業	12事業	15事業
	実績値	10事業	12事業	
(5) 啓発・研修への参加事業所数	目標値	1,000事業所	1,000事業所	1,000事業所
	実績値	922事業所	1,100事業所	

注：17年度実績値は1月末現在で把握できる見込み値

(2) 国の「再就職支援セミナー事業」の内容拡大に伴い、本事業と重複することとなったため、17年度末で廃止

<進捗状況(現状と課題)>

- ・中高年の円滑な再就職を図るため、短期職場実践訓練、キャリアカウンセリング、就職に有利な資格等の取得支援などを実施するとともに、国の支援制度も活用しながら各地域の実情に応じた雇用対策を関係機関との連携・協働により推進してきた結果、経済情勢の回復や国の雇用対策とも相まって、雇用情勢は全体として改善傾向にあります。

- ・一方で、県内北部地域では、有効求人倍率が1倍を超えているものの、求人・求職のミスマッチが生じているのに対し、南部地域では雇用機会が不足しているなど、地域ごとに雇用情勢が異なっていることから、引き続き、それぞれの地域の雇用情勢に応じた対策を講じていく必要があります。
- ・また、就労者の雇用に関する不安の解消や労使間のトラブルに対応するため、労働・生活相談窓口「ライフ・ワークサポート三重」を運営するとともに、関係団体等との連携により、事業者等を対象とする労働関係法令の遵守に関する啓発・研修の実施に取り組んでいますが、労働・生活相談件数は依然として高い水準で推移しているなど、引き続き、就労者の立場に立った労働環境づくりの促進を図る必要があります。

<平成18年度の取組方向>

- ・中高年者の早期の再就職を支援するため、従業員を募集中の企業において短期間実際の仕事に従事することを通じて当該企業への就職につないでいく訓練事業や再就職に有利となる免許・資格取得への助成などを引き続き進めていきます。
- ・さらに、各地域の実情に応じた効果的な雇用対策事業を地域の関係機関・団体等との協働により構築・推進していくとともに、きめ細かな労働・生活相談や、就労者の立場に立った雇用環境づくりの促進などに引き続き取り組みます。

<主な事業>

短期職場実践訓練事業【18年度当初予算額 19,890千円】

雇用保険失業給付を受給していない失業者が、従業員を募集中の県内企業等において短期間実際の仕事の訓練を受けることにより早期に再就職できるよう支援を行います。

地域雇用対策推進サポート事業【18年度当初予算額 8,161千円】

県を北部、中部、南部に分け、市町・関係団体などとの連携体制のもとに、ミスマッチの緩和、雇用機会の拡大など、それぞれの地域の課題・実情に応じた雇用対策を実施します。

ライフ・ワークサポート三重推進事業【18年度当初予算額 19,190千円】

就労者の立場に立った雇用環境づくりのため、事業者等を対象とした啓発・研修の推進及び事業所における企業診断（労使コミュニケーション診断）の実施促進とともに、県の労働・生活相談窓口「ライフ・ワークサポート三重」について、機能の充実を図りながら運営します。